

電力広域的運営推進機関 (日本の電気の総元締め)

3. オークション結果の集計・公表
(2) 電源等の広札容量

全国の広札容量は合計で17,205万kW。そのうち電源等の区分別、安定電源が16,598万kW (96.4%)、変動電源(風力)が412万kW (2.4%)、変動電源(太陽光)が71万kW (0.4%)、変動電源(水力)が42万kW (0.2%)である。

電源等の区分別の広札容量

Our mission
日本の電気の今を支え
未来を切り拓く

容量市場メインオークション
約定結果公表
対象実施年度：2029年度

2026年度
全国及び供給区域ごとの
需要想定公表

新卒採用募集中

関連分野から探す

- 系統関連
- 容量市場関連
- 再生可能エネルギー関連

- 広域機関システムをつかう
- スイッチング支援システムをつかう
- 系統を利用したい

2026.02.13	停電の影響に関するアンケート調査の実施について (終了のご報告および御礼)	>
2025.10.24	電力需給検証報告書の公表	>

2024年から徴収が始った容量市場負担金 (容量拠出金)
が今後増加するをご存知ですか？

1. 容量市場負担金（容量拠出金）とは

将来の電力供給力（kW）を確保する費用を需要家が負担する仕組み（4年後の電源）

2. 九州電力管内・高圧1,500kWの負担金試算（事例）

計4,365万円up

年度	予想単価 (円/kW/月)*	月額負担 (概算)	年額負担 (概算)	2025年比の増分
2025年度	400円	60万円	720万円	-
2026年度	550円	82.5万円	990万円	+270万円
2027年度	910.8円	111万円	13,32万円	+612万円
2028年度	1,045円	156.8万円	1,881万円	+1,161万円
2029年度	1,045円	156.8万円	1,881万円	+1,161万円
2030年度	1,045円	156.8万円	1,881万円	+1,161万円

3. 九州エリアの単価が高くなる主な理由

(九州電力発電所の場合)

発電所名	ユニット	出力 (万kW)	燃料	時期 (予定)	状況	計 206万kw
豊前発電所	2号機	50	石油	2026年3月	廃止決定	
苅田発電所	新1号機	36	石炭	2026年6月	廃止決定	
大分発電所	1号機	25	石油	2026年度以降	休止中・廃止含め検討	
大分発電所	2号機	25	石油	2026年度以降	休止中・廃止含め検討	
松浦発電所	1号機	70	石炭	2030年前後	非効率石炭の整理対象*	

*政府の「**2030年度までに非効率石炭火力をフェードアウト**」という方針
2030年までに順次、休廃止やバイオマス・アンモニア混焼への転換の見通し

4. なぜ負担金が急騰するのか（背景と原因）

- 「**発電所の引退スピード**」が「**新しい電源の建設**」を上回った
 - ・ 2025,2026年（400、550円/kw）：供給力に余裕がある前提で決定
 - ・ 2027,2028年（910、1045円/kw）：**不足に転じ最高価格**で張り付く

5. どの程度退出して、どんな影響

- 全国で**年間数百～1000万kW単位の老朽火力が市場から消える**
 - ・ 影響1：電気料金の「**基本料金**」上昇
大規模工場の場合、年間数千万～数億円単位のコスト増

6. 九州電力から購入すれば増加は少ないのでは ← NO

容量市場の制度設計（しくみ）

- ・ 電力供給力（kW）確保費用を需要家が負担する**相互扶助の仕組み**
- ・ 九州は老朽発電所や再エネ比率の高さから、単価が高い構造
「**九州電力、新電力から買っても、負担からは逃れられない仕組み**」

7. 対策（案）

- **契約電力（1500kW）の削減（事例が1500kwと仮定）**
 - ・ 負担金がkW（容量）にかかるため契約電力を下げる
 - ・ 100kW、200kWと下げること → **これが最大の防衛策**

8. 容量市場負担金の今後

長期脱炭素電源オークションの長期コスト発生

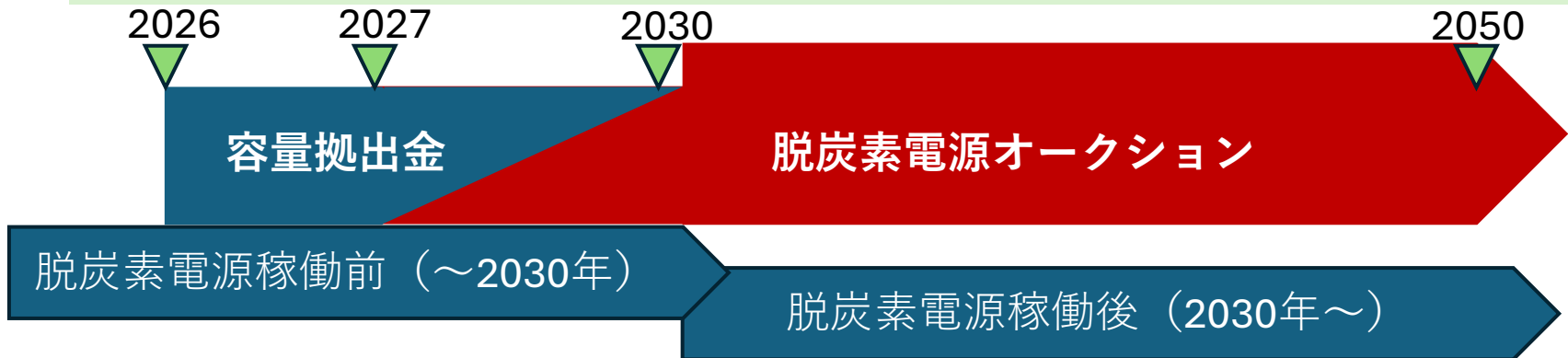
(容量市場負担金に含まれる)

■日本は、2050年カーボンニュートラル (CO₂ 排出実質ZERO) 宣言

- ・ 2050年という長期的な目標を達成
- ・ 2024年から応募開始、2027年から稼働
- ・ 脱炭素電源 (再生エネ、脱炭素火力発電所) への長期的な投資

コストの考え方

- ・ 容量拠出金に含まれて請求
- ・ コスト的には脱炭素電源は従来の数倍のコストが発生



9. パルラートのお客様支援

- ・ 毎日のデマンド、kwh (使用量) に着目した情報を提供し、『見える君』による可視化支援の推進